

令和4年（2022年）5月26日

山口県立広瀬高等学校同窓生の皆様  
山口県立岩国高等学校広瀬分校同窓生の皆様  
地域の皆様

山口県立岩国高等学校  
校長 竹村和之

### 広瀬分校の令和5年度以降の生徒募集の停止について

広瀬高等学校及び岩国高等学校広瀬分校の同窓生並びに地域の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から岩国高校広瀬分校の教育活動に御理解と御協力、御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、山口県教育委員会は、令和2年12月に「県立高校再編整備計画 令和3年度～令和6年度（2021年度～2024年度）実施計画」を策定し、広瀬分校について、「今後の入学者数の見込みを踏まえ、生徒募集の停止を検討します。」としたところです。

このたび、県教委において、広瀬分校の入学者が定員を満たしていない状況が続いていることなどから、今後の中学校卒業者数の推移及び分校への入学見込者数を踏まえた上で、来年度（令和5年度）以降の入学生の募集を停止すると決定・発表されました。

昭和16年に山口県立広瀬農林学校として開校した本校は、80年を越える歴史を有しており、この間、地元錦町をはじめ、各界で活躍する人材を輩出してきました。また、70年以上の歴史がある茶摘み・製茶体験をはじめ、カヌー体験や「にしきをもっと知ろウォーク」など、自然環境に恵まれた地域の特性を生かした行事や、学習・進路指導においては、様々な進路に対応するコース制や多様な科目の開設、少人数の特徴を生かしたきめ細かな指導など、生徒・教職員、保護者や、同窓生をはじめ地域の皆様と一体となって学校の活性化に努め、その魅力を発信する取組を進めてまいりました。

こうした行事等に熱心に取り組む生徒の姿は本当に素晴らしく、地域に元気をお届けするとともに、生徒自身も本校の3年間の学びを通して、大きく成長しています。

現在在籍している生徒は広瀬分校生として、引き続きこの学び舎で学び、現1年生が卒業する令和6年度末をもって広瀬分校は閉校することになります。

このことについて、広瀬分校の教職員で意見交換を行いました。教職員からは、「入学してくれた生徒を大切にしていこう。」「今の生徒が、この広瀬分校で高校生活を送ることができて、本当によかったと、卒業するとき心から思ってくれるように、頑張っていこう。」「この学校を卒業した人たちや、これまで、この学校を支えてくれた地域みなさんに恩返しをする気持ちで取り組んでいこう。」「『この町に広瀬分校っていう素敵な高校があったよね』と、広瀬分校を誇りに思い、その心に、本校の姿が末永く刻み込まれるような取り組みをしていきましょう。」等の前向きな言葉が溢れ、改めて、生徒一人ひとりを大切に、地域と連携した本校教育を進めていくことを誓い合ったところです。

学校といたしましては、これまで以上に、保護者の皆様や地域の方々、同窓生の皆様としっかりと連携しながら、教職員が一丸となり、広瀬分校の締めくくりとなる数年間を過ごすこととなる在校生が、充実した高校生活を送ることができるよう、また、広瀬分校にゆかりのある多くの方々が広瀬分校を誇りに思い、その心に、本校の姿が末永く刻み込まれるよう、心を込めて取り組む決意です。

同窓生並びに地域の皆様には、これまでも、本校に惜しみない御支援をいただいていたところですが、今後とも変わらぬ御支援・御協力をくださいますようお願いいたします。